

事業所名

スパーク逗子×山本メディカル (放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

7 日

法人 (事業所) 理念		「すべては『子どもたちの自立力向上』のために」 ・スパークメソッドに基づいた運動療育で、脳とこころとからだを育む。 ・子どもたち一人ひとりの「やってみたい!」を大切に、自発性を引き出す支援。 ・家族と共に、地域と共に、安心できる居場所とつながりを創出する。						
支援方針		1. 小学生を対象に、学齢期に応じた社会性・生活力の向上を目指します。 2. スパーク運動療育を通じて、情緒の安定と自己肯定感を育てます。 3. 個別課題・グループ活動を組み合わせ、バランスの取れた支援を提供します。 4. 学校や家庭、関係機関と連携しながら、長期的な成長を見据えた支援を実践します。						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	子どもの体調や気分の変化に気づけるよう、日々の視診や声かけを丁寧に行います。手洗い・うがい・整理整頓・持ち物の準備など、学校生活や家庭生活の中で必要な生活スキルの習得を支援します。視覚的なツールや個別の声かけを通じて、自立に向けた生活習慣づくりを行っています。						
	運動・感覚	スパーク運動療育を中心に、体をしっかり使った運動や感覚遊びを取り入れながら、身体のコントロール力や情緒の安定を育てています。活動の前後にクールダウンや調整時間を設け、子ども自身が「落ち着く」「集中する」感覚を育めるように支援しています。						
	認知・行動	課題活動を通じて、注意力・記憶力・柔軟な思考の力を育てています。スケジュールの構造化や「できた」が見える支援 (トークン、タイマーなど) を活用し、安心して行動できる環境を整えます。行動面に困りごとがある場合も、背景を丁寧に捉えた関わりを行います。						
	言語 コミュニケーション	ことばでの伝え方や聞き取り、やりとりの練習を日常の中で行い、コミュニケーション力の向上を図ります。SST (ソーシャルスキルトレーニング) やロールプレイを活用し、自分の気持ちや考えを伝える力、相手を思いやる表現を身につけられるよう支援します。						
	人間関係 社会性	友達との関わりの中で、ルールを守る、役割を果たす、助け合うなどの経験を重ね、集団の中での立ち振る舞いを学びます。うまくいかなかった場面も一緒に振り返り、良いところを見つけた声かけを通じて、自己肯定感や社会性を高めていきます。						
家族支援		・学校での様子と家庭での様子をつなぐ情報交換 ・保護者向けフィードバック (月1回) ・学齢期に合わせた声かけや生活習慣形成支援 (例: 整理整頓・時間管理等)			移行支援		・小学校への通学移行に合わせたサポート ・学校との連携 (支援会議・個別の支援プラン共有) ・将来的な通学や進学に向けた意識づけと経験提供	
地域支援・地域連携		・学校、相談支援事業所、教育委員会等との情報共有 ・地域行事への参加 ・地域の療育機関、医療機関との連携			職員の質の向上		・スパーク協会の研修参加による専門性の強化 ・子どもの発達特性 (ASD、ADHD等) に関する内部研修 ・子どもの発達心理に関する学習	
主な行事等		・季節行事 (節分、七夕、クリスマス) ・親子運動あそび会 ・地域交流イベント						